



2021年度 町田第二地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年11月1日（月） 18：30～20：00

[場所] 町田市庁舎 会議室3-1

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 藤川 孝之

○ 連合会長の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 会長 中 一登

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 道路の維持補修について

【道路部】

2 公共施設整備のその後について

【政策経営部】

3 災害防止策について

【下水道部】

【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 西山 忍

2021年度 町田第二地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2021年11月1日(月) 18:30～20:00

[場 所] 町田市庁舎3階 会議室3-1

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 小池 晃

道路部長 神蔵 重徳

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

下水道部長 荻原 康義

政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

町田第二地区町内会・自治会連合会長 ほかに14名

事務局 市民部市民協働推進課(5名)

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第二地区町内会・自治会連合会副会長

- 町田第二地区町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 道路の維持補修について

(1)市道の道路標示の再ペイントについて道路上の標示が消えている箇所が多く、人や車の交通量が多い場所では非常に危険を感じます。交通事故を防止するために、学校周辺や、生活道路と幹線道路を結ぶ市道の道路標示の再ペイントをお願いいたします。

(2)本町田小学校前の歩道の整備について本町田小学校前の歩道が、街路樹により隆起しており、通学する児童が転倒する恐れがあります。そのため、歩道の隆起部分について早急に整備をお願いいたします。

【回答】

道路部長

議題1の「道路の維持補修について」お答えします。

まず、(1)市道の道路標示の再ペイントについてですが、市道の路面標示

は2種類に分類され、1つ目は交通管理者である警察（公安委員会）が設置する「道路標示」。2つ目は道路管理者である町田市が設置する「区画線」があります。

道路標示は、横断歩道や停止線などの交通規制に関するものを指し、警察により引き直し等が行われます。

区画線は、車道中央線や車道外側線等の白線で引かれるものを指し、市道上のものは町田市で対応いたします。

市道上の区画線の引き直しにつきましては、道路パトロールや市民・地域からの通報に基づき現地調査を行い、通学路や事故発生個所を優先に引き直しを行っております。

警察が所管する道路標示については、直接警察に要望していただくか、市に要望していただければ管轄の警察署へ対応を依頼しております。

現状では、補修が追い付いていない箇所があると思いますが、具体的な箇所がありましたら道路部までご連絡ください。

次に、（2）本町田小学校前の歩道の整備についてですが、

本町田小学校前の歩道は、街路樹であるケヤキが大きく生長したことにより、舗装に凹凸等が発生していたため、2021年4月に32箇所の補修を行いました。

今後も、著しい凹凸等が発生した場合は補修を行い、歩行者の安全確保に努めてまいります。

また、当該箇所においては2022年度から無電柱化整備事業に合せた歩道拡幅整備を予定しております。この事業では、現在の街路樹であるケヤキを伐採し、比較的大きくなりにくい樹種へ植替えを致します。

《質疑》

地区連合会長

本町田小学校前の歩道をきれいにしていただいております。この拡幅をするというお話ですが、大体いつ頃の予定になっているのでしょうか。

それともう一つ、本町田小学校の隣あたりに、薬局ができるという話も聞いています。あそこに薬局ができれば、恐らく人通りも多くなると思います。今後事故が起こらないようにするため、考えていく必要もあります。特に、小学校の生徒の登下校時です。登校時は何人か見守りで立っていただいておりますが、下校時になると心配な部分があります。できれば早く対応していただければ、安心できるかなと思っていますのでよろしく願いいたします。

道路部長

無電柱化事業は、来年度から行っていく予定で、伐採事業も行う予定になっ

ております。来年2022年度、再来年23年度でケヤキの木を伐採していく予定でございます。その後は、そんなに大きくならないような樹種を選定していきます。現在幹がかなり大きくなっていて、車の出入りの見通しが悪い状況で、いろいろ弊害はあると思いますので、この整備が終われば大分よくなるのかなと思います。

もう一つ懸念であります薬局の出入りにつきまして、その前後5m部分のところについては街路樹を植えないなど、見通しが確保できるよう指導しながら、我々も改めて植える時に、どこに配置をしていくか検討しながら、整備をしていきたいと思っております。

地区連合会長

もう一つ、先ほどの道路の標示や点検についてです。みちピカを知っている人は知っていると思います。これは今までは道路のくぼみで使っていましたが、この標示をみちピカで配信してもいいのではないのでしょうか。

道路部長

「まちピカ町田くん」というアプリがありますので、是非ご活用いただければと思います。先ほどお話しさせていただきましたように、横断歩道や、停止線が消えているところもありますが、そこは交通規制の部分なので、警察でないと引けないということがあります。市民の方には区別がしづらいと思いますので、まず市に送っていただければ、我々の方で判断して所轄の町田警察や南大沢警察に情報をお送りいたします。気になる点がありましたら是非市が配信しておりますアプリを活用してください。我々もパトロールをしておりますが、見切れていないところが多いですので、状況を教えていただければ対応いたします。

2 公共施設整備のその後について

(1) さるびあ図書館等の公共施設再編について町田第二地区にはさるびあ図書館があり、住民が気軽に図書へ触れることができている。しかし、「町田市公共施設再編計画」や「町田市5カ年計画17-21」では図書館が集約、複合化の対象となっており、2018年3月議会にはさるびあ図書館の存続を求める請願が出されました。そこで、さるびあ図書館周辺の公共施設を含めた複合化、多機能化等の現在の検討状況についてお聞かせください。

(2) 町田消防署跡地の利用方針について2018年の市政懇談会で町田消防署跡地の利用についてご質問させていただきました。その際は、町田第一中学校の改築工事期間中は部活動などの代替グラウンドとして2022年2月頃まで利用し、その後の活用については検討していく旨ご回答いただきました。

た。2022年2月以降の町田消防署跡地の利用方針の検討状況についてお聞かせください。

【回答】

政策経営部長

(1)一つ目にご質問いただきました、さるびあ図書館周辺の公共施設を含めた複合化、多機能化等の現在の検討状況についてご説明します。

これらの公共施設は、2018年6月策定の「町田市公共施設再編計画」に基づき、再編の検討が進められています。また、保健所と子ども発達センターについては、さらに具体化を進めるため、今年3月には「民間とのコラボレーションによる公共施設の建替え方針」も策定し、検討を進めております。

お手元に参考資料として、本方針(ピンクの冊子)と、大判リーフレット(ぷらっと)もお配りしていますので、ご参照ください。今後につきましては、ぷらっと1面にも記載のありますとおり、今年度のおわり(来年3月頃)には、「(仮称)町田駅周辺公共施設再編構想」も策定を予定しています。

それでは各施設の検討状況を順にご説明します。

まず一点目の保健所中町庁舎についてですが、2020年度に集約し、建替える候補地を5つから、2つにしぼりました。具体的には、保健所中町庁舎と健康福社会館の、どちらかの用地に集約することとしましたので、今まさに、どちらにするか検討しています。今年12月には、この集約地を含む再編構想案を皆様へ公開し、意見募集を行いたいと考えております。

二点目のさるびあ図書館についてです。

さるびあ図書館については、2020年2月策定の「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」において、2026年度まで中央図書館との集約を検討するとしており、具体的な検討は教育委員会が主体となって行っております。

集約の方向性としては、まずは中央図書館・さるびあ図書館それぞれの役割や機能などを整理し、特徴的な機能を維持・向上する方策を検討していきます。その検討にあたり、教育委員会の方で、地域の皆様から、これまでのさるびあ図書館に対する思いや、これからのさるびあ図書館についての考えなどのご意見を伺っていると聞いております。

引き続き、皆様からのご意見を丁寧に伺いながら、集約の検討を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

三点目の子ども発達センターについてです。

こちらについては、境川団地地区の教育センターへと複合化します。教育センターに複合化することで、子どもに対して幼児期から学齢期まで切れ目のない支援を提供できるなど、支援体制の一層の充実という効果が期待できます。2028年度の移転を目指し、検討を進めています。

(2) 二つ目にご質問いただきました、町田消防署跡地の今後の利用に関する検討状況についてお答えします。

町田第一中学校の代替グラウンドとしての利用につきましては、当初予定では、2022年2月まででしたが、3月末までとなる見込みです。

その後の利用は現在検討しているところです。具体的には、先ほどお伝えしました、保健所中町庁舎と健康福社会館の2つの保健施設の集約にあたっての仮設用地としての活用や、今後の多摩都市モノレールの延伸を見据えての、まちづくりへ寄与するような活用などを検討しています。また、東京都からも用地を借用したい旨の相談も受けています。

引き続き、効果的な活用を目指して、検討を進めてまいります。

《質疑》

中町中央町内会

さるびあ図書館から100mくらいのところに住んでいまして、よく使っております。存続するか、しないかということ言えば、文句なしに存続してもらいたいと思っています。確かに存続すれば運営費とかいろいろお金がかかると思いますが、やはり広い意味での教育ということになれば、あまりお金がかかるからとか、これだけコストがかかるからとか、これくらいやらないと効果が出ないとか、そういうことはあまり考えないで、将来のために先行投資の意味で図書館というものは大事になると思います。あの辺の地区にとっては、さるびあ図書館は大事なものだと思います。是非検討してもらいたいです。よく話題になるのは、さるびあ図書館と保健所とすみれ会館です。こういうものを合併し一つの建物にして、私は広場にしてもらいたいなということ、よく町内会で話し合っています。是非お願いします。

政策経営部長

先ほどもお答えしましたが、まだ2026年度までどういう方向で集約するかという方向を決める話です。お配りした赤い冊子の7ページに、いろんな事業区分が記載されています。ただ、市もふんだんにお金があるわけではありません。参考という項目がありますように、民間事業者を活用した手法が多くあります。そういったものをうまく活用しながら進めていけるように、いろいろと事業者の人からお話を聞いているところでございます。もう少しお時間いただいて、どんな方向になるのかを更に検討していきたいと考えています。

中町中央町内会

民間の資本を利用して、あれだけのいい場所ですので、今おっしゃったように、例えば、マンション作るとか、マンションの下にそういう施設を作るとか、民間の資本を使ってできたらいいかなという考えもあると思いますので、単独

で市の財政だけでやるってこと、考えないでやってもらったらいいと思っています。

政策経営部長

先ほども申し上げましたけど、12月に構想を出します。そこでまた意見募集を行いますので、是非そこでご意見いただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

地区連合会長

皆さんもご存じの第一中学校が跡地を使っていますが、第一中学校の建物が新しくなり、グラウンドも少し広くなりました。あそこの中学校の生徒数から考えてもグラウンドがどうしても狭いです。野球は市民球場、サッカーはどうしているかわかりませんが、旧跡地はテニスで使っています。提案ですが、できれば期限を切らずに、町田一中のグラウンドで使わせてもらうことができなものだろうか。町田一中のグラウンドは広げようもありません。建物を建て替える時に、道路を下げてとにかくできるだけ校舎を広くしていただければありがたいと言いました。少し広くなりましたが、それでもまだまだ一中の生徒の部活等見ていると狭いと思います。他の中学校をいくつか見ましたが、やはり町中にあるところは往々にして狭いのです。その辺も考えていただいて、旧跡地を中学校で使えるようにしていただければありがたいです。教育委員会さんともよく相談していただければと思います。

政策経営部長

教育委員会から状況も確認して相談いたします。

3 災害防止策について

(1) 調整池の管理について近年、豪雨災害により治水対策の重要性は年々増しております。町田第二地区においても治水対策をされておりますが、恩田川沿い本町田1337番地1の調整池は現在、専門的な知識のない町内会・自治会で管理しております。知識がない中での管理は災害防止の観点から不安があります。そこで、災害防止策としての本調整池の管理のあり方について市の考えをお聞かせください。

(2) 本町田緑地の土砂災害対策について本町田と旭町3丁目にある本町田緑地は周辺には住宅が多くありますが土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に指定されています。土砂崩れが起きた場合、住民への影響が大きいものと考えております。本町田緑地の土砂防止対策を講じていただくようお願いいたします。

【回答】

下水道部長

災害防止策についての（１）調整池の管理についてお答えします。（資料１調整池航空写真）

はじめに、調整池の機能についてご説明します。調整池の機能は、雨水を一時的に貯めて河川へ少しずつ時間をかけて流すことにより、洪水被害の発生を抑制する施設です。

町田市としては、近年多発している集中豪雨による浸水被害を抑制するために、調整池を保全していく必要があると考えております。

町田市内には、市が管理している調整池が１５４箇所、民間が管理している調整池が２９０箇所となっており、合計４４４箇所の調整池があります。

町内会・自治会が管理している調整池については、「施設の老朽化や住民の高齢化により、良好な状態で維持管理を続けることが難しくなっているため、町田市に調整池を寄附し、管理をしてほしい。」という相談を受けることがあります。

寄附することに権利者全員の合意が得られないことや、権利者の所在が不明であること等の理由で、寄附することが難しいケースが見受けられます。このような町内会・自治会が管理する調整池を保全していくことが、課題であると認識しております。

現在、流域が一体となって治水安全度の向上等を目指すため、国、東京都、及び神奈川県等の流域自治体が「鶴見川流域水協議会」という組織を立ち上げております。この協議会において、既存調整池の機能確保についても、意見交換をしております。

今後、「鶴見川流域水協議会」の中で、民間の調整池の保全に向けた課題解決のために意見交換を進めるとともに、民間の調整池を保全していくために町田市としてどのようなことができるのか検討してまいります。

また、町内会・自治会が管理する調整池の維持管理のご相談について、引き続きお話を伺ってまいります。

都市整備担当部長

（２）本町田緑地の土砂災害対策について

土砂災害防止法に基づき指定された『土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域』は、危険なエリアを周知し、危険性を感じた場合や避難情報が発信された際に、避難所等安全な場所へ避難していただくことを目的として東京都が指定した区域です。

大雨により土砂災害の危険性が高まった場合は、防災行政無線、登録メール、エリアメール等を使用し情報伝達を行いますので、身の安全を第一にお考えいただき、避難していただきますようお願い致します。

なお、急傾斜地の崩壊を防止するために必要な措置を講じる法律としては、急傾斜地法がございますが、本町田緑地は、急傾斜地法に基づく、『急傾斜地崩壊危険区域』には指定されておられません。

《質疑》

新小田急住宅自治会

今回取り上げられた課題は、本自治会が非常に関係しております。(1)の調整池はただいま私どもで管理していて、共同所有の元で自治会員として対応しているところです。この自治会も45年くらい経っております。当初からこの調整池は設置されております。当時の状況からはだいぶ周囲の状況も変わっていますし、それから温暖化による影響で雨の量も変わってきています。台風が通るたびに氾濫するという状況がここ数年続いております。先般の9月20日の台風12号の時も、溢れまして調整池の北側を流れているわさび沢川のところがオーバーフローしました。土砂が流れて、軟弱化して、より危険な状態であるということ、周辺に住んでいる住民、会員の方から報告がありました。私も早速現地を調査して、下水道の担当の方に来ていただいて、見ていただきました。そうしたら、気が付きませんでした。下の排水溝の脇に穴が空いていました。小さい排水溝の脇に穴があって、そこから水が入ってきている。さらにそれが上にのぼって行って土砂を吐き出しているという状況が見られました。

それから、もう一つは、オーバーフローする上の方に、逃げ水の穴、溝がありますが、それが狭くて担当の方があと3倍の広さの間口が必要じゃないかなということをおっしゃっていました。できた当時の状況とはだいぶ変わっておりますので、管理のあり方について住民としては非常に悩んでいるというのが現状です。穴の方は、私どもがボランティアとして穴を埋めました。そこは解決しましたが、上の方の逃げ水の広さを大きくするというのはかなり費用もかかるし、一体どのぐらいそれを広げればいいのかということもなかなか素人ではわからないということもあります。是非とも市の担当の方からどの程度が対策として妥当なのかということをご指導いただければと思います。

下水道部長

調整池に水が貯まって、かなり雨が降ってきたときに水路の横にオーバーフローした雨水が出る構造になっていると思います。その出口が小さいのでは、といったお話がありました。こちらの写真の調整池の北側に、今お話があったわさび沢川が調整池のすぐ横にありまして、そこに出ていると思います。調整池は当時どのように検討されたのか、資料が実は市の方にありませんので、そういったものを見させていただきながら、現地も今一度見て、お話しできればと思います。大きさの話もありますが、入ってくる水の高さ、出ていく水の高

さといった高さの話もあるのかなと思います。ここは、通常であれば同じかそれよりも低ければ、うまく出ていきますが、出口が逆に高いとうまく出ていかないというところもありますので、大きさも高さも含めて確認できればと思います。

新小田急住宅自治会

市への移管ということもいろいろ考えていきましたが、この話は20年位前から度々ご相談していますが、先ほども申しましたとおり136人の共有地なので、権利者全員の承諾というのが非常に難しいです。45年も経っていますので、所有者もかなり代替わりしていますし、合意をとるのは非常に難しいです。その申請にあたっては、図面が必要だということがあって、いろいろ探しましたがどうも見当たりません。そういった意味でも移管するには非常に困難があって、事実上難しく不可能だと思われております。できれば管理を、もちろん所有者である我々の責任ということが第一にあります。市から専門的な知識や助言をいただいて、適切な処置をしていきたいと思っています。

それから、市の方の調整池については、月1回の点検を行っているとお聞きしております。我々はそういう濃密な管理がなかなかできませんが、定期的な管理の在り方のマニュアルみたいなものも出していただいて、できる範囲で我々がやれることをやっていきたいなと思っています。命と財産に係る問題ですから、是非ともそういうところを考慮していただきたいです。

この際ですから、いろいろ言わせていただきますけれども、いろんな工事を伴う場合には費用もかかりますので、そういった時には、例えば補助金的なものをこれからの話として、検討していただきたいです。鶴見川流域水協議会について、担当者の方から聞くと、国も、都や自治体と一体となって、調整池の問題も取り組もうしているとお聞きしていますから、是非町田が一つの新しいモデルを提供できるような施策を提示していただければと思います。

地区連合会長

調整池の話ですが、3・3・36号線は、橋桁が架かっていますが、あの辺から恐らく水が相当下水道に流れ込むと思います。大雨が降ると私も下水道を見に行きますが、雨でかなり嵩が増えています。あの3・3・36号線ができると、あそこに流していくと思います。その辺について納得いくまでよく相談していただいて、それから次の対策をしていかないともっと溢れてしまいますので、どうぞよろしくお願いします。

新小田急住宅自治会

本町田緑地の方ですが、斜面地ですが非常に自然豊かなので、絶滅危惧種の植物も12種類があり、植物の種類としても282種類観察されています。

それからゲンジボタルも出ます。トンボやチョウチョといった生き物が87種類くらい観測されていて、非常に自然豊かなところですよ。緑地の保全と災害の安全性の確保というのは、裏腹みたいなところがありまして、緑地を残しながら安全な状況を保つためにはどんな対策がいいのか、我々としては両方とも守っていきたいと思っています。これはこの場所だけじゃなくて、町田にそういうところがいっぱいあると思います。そういうものを、やはり総合的な観点からいろいろ対策を立てていく必要があると思います。

避難するための手段として、いろいろメールやアナウンスをやられていることはお聞きしましたが、一人暮らしで、あるいは障がいを持たれている要支援者の方がどのように避難したらいいか、下水道の担当の方々の課題ではないかもしれませんが、市として連携して避難対策のあり方を検討していただければと思います。個別避難計画は今年の5月の法改正で、進めなければいけないと言われていています。私どもも4、5年かけて、ある程度聞いていますが、一番危ないところから対策は立てておかないと災害はいつ来るかわかりませんので是非早急に対策を立てていただきたいと思っています。

都市整備担当部長

本町田緑地は見てわかるように、細長い土地です。希少な植物や、ホタルがいますが、実際に工事をしたとする場合は、木はほとんどなくなってしまいかたと考えられます。よく高速道路で山肌処理しているところを見たことあると思いますが、ああいうかたちでほとんどコンクリートの壁になってしまうというところがあって、なかなか両立が難しいことを認識しています。そういう意味で、土砂防に指定された区域については避難を周知しますので、避難をしてほしいということです。また、避難する場合は要介護の方につきましては、防災安全部など別の部署がありますので、またそこと連携を取りながら、調整をしていきたいと思っています。

新小田急住宅自治会

全部をコンクリートで固めるということではなく、急斜面あたりを嚴重にやって、少しはそういう緑も残すというやり方を、全体的なあり方として検討していただければと思います。町田は緑が売りでもあるので、それは残しながら安全であるということをお願いしたいということです。

都市整備担当部長

市内にも多数こういう場所がございまして、市内だけで言うと、1,700箇所くらいはあります。そのうち半分はやはりこちらのように住宅が建設している部分があるという状況です。実際に、市町村レベルで整備するとなったらかなり難しい状況ではあります。部分的な補修については今現在も行っ

ていますので、もし本当に危険な場所があったら、ご連絡いただければ現地調査して対応してまいります。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

皆様に今年は私が話している内容を、「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料としてお配りしました。

まずは何といたっても新型コロナウイルスについてです。去年の3月で小学校が休校になりました。そのため学校では遅れた授業を4月だけでは終わらなくて5月にも行い、夏休みも短くしてやっと教科をこなしたのが実状です。それからは学校の休校対応はありません。

今年から本格的にタブレットによる授業が始まりました。タブレットを全員に配っておりますので、それで授業をしています。学校の勉強が家でもできるということで、様々な理由で学校に行けない生徒も勉強を家でもできるようになりました。不登校という問題と勉強がうまく回らないという問題を少し改善することができました。

新型コロナウイルスについては10項目記載しております。まずは、特別定額給付金、去年の4月、5月に行いました、1人10万円の給付金です。町田市内約432億円の金額でした。ただ、マイナンバーカードでの手続きがうまくいかず、総務省のシステムが容量オーバーで2時間以上応答がないということもありました。最後は口座番号と氏名、住所をファックスで送ってもらうということをしました。この件で総務省は2025年くらいまでに、マイナンバーカードと住民基本台帳を結び付けて仕事を行うことを検討しています。これについてもやや懐疑的なことがありまして、日本のシステムはいろいろな会社が開発をしています。去年のシステムダウンもそれで引っかかりました。そのため、25年の時には統一的なやり方ができるのか心配ではありますが、総務省は単一のシステムを稼働することを目指しております。自分のマイナンバーを入れて、転入先のデータを入れるとその瞬間に転入先の市に転入することができます。ご自宅で手続きができるようになります。そうすると、庁舎1階で行っている業務がかなり減ることになります。市だけではなく、ガスや電気会社にもデータが行くことになると思います。

子育て世帯に対しても1万円の給付金を支給しました。それが約4億9千万円。

また、中小企業者家賃補助事業を4回行いました。去年の5月から1回目、利子補助と合わせて約10億6千万円。2回目は約5億2千万円。今年に入って3回目の約4億円。更に約3億円と4回補助事業をしています。売り上げが

15%以上減った企業が対象でした。

それから、4つの病院に約2億円の給付をしています。

去年4月に、地域外来のPCR検査センターを旭町体育館の地下につくりました。多摩地域26市の中では1番目でした。

ひとり親家庭にも特別給付金を支給しました。国ベースと町田市ベースで行っています。

さらに、去年の年末から今年にかけてキャッシュレス決済、Pay Payと連携してプレミアムポイント事業を行いました。23億円分のプレミアムポイントを市が負担して行いました。2回目を今年の6月に行いました。

8番目に、飲食店のデリバリー支援を行いました。出前館にお願いして、消費者が出前を頼んだ時の配達料とお店側が出前館へ払う配達代行手数料を市が負担しました。また、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、合わせて約2億円でした。

介護サービスと障がい福祉サービスへの支援も行いました。

昨日現在ですが、今年の6月からスタートしましたワクチン接種事業は、12歳以上の全人口比約77.7%が2回目まで接種が終わっています。高齢者が約91.4%2回目の接種が終わっています。3回目については、来月から医療従事者を対象に始まります。一般の方については、来年の2月頃に高齢者の方を中心に、3回目のワクチン接種を予定しております。

〇ごと大作戦は、12月で終了します。4年行い約300の事業のエントリーをいただきました。参加した人数は、Web上を含めて200万人です。目標は100万人でしたが、実際は200万人となりました。たくさんの方に参加していただきました。

多摩都市モノレール整備は、新しい駅の周辺整備基金として7億5千万円です。

オリンピック・パラリンピックについては、今回ほとんどの競技が無観客でしたが、インドネシアのパラバドミントンの事前キャンプを総合体育館で行いました。参加した選手のほとんどがメダルを獲得しました。

去年の4月に薬師池公園西園にウェルカムゲートができました。多くのお客さんが来ています。

野津田公園GIONスタジアムは、5月に観客席を10,000席から15,000席に増設工事をしました。

鶴川駅は南北の開発が始まりました。南側の区画整理事業は既にスタートしています。北口は駅前広場の工事を始めています。道路部の仕事です。

南町田グランベリーパークは一昨年11月にスタートして賑わっています。

熱回収施設は、既にごみの試験燃焼を行っています。生ごみを発酵させてガスを出す。そのガスで発電するバイオガス化の施設にごみが入っています。

す。首都圏で初めての施設なので、視察が多く来ると思います。温浴施設も来年の4月にオープンします。

待機児童数は去年が130人で、今年は76人まで減りました。南地区に多いです。

町田第一中学校は二学期から新校舎で授業を行っています。体育の授業は本町田の後田グラウンドを使って行っています。

避難施設として使う小・中学校の体育館では、今年度全62校で空調設備の整備が完了します。避難施設で暑くて、また寒くて病気になってしまうことが避けられます。子どもたちが体育の授業中に熱中症で倒れることもなくなります。

中学校全員給食は、現在基本計画の策定中です。2025年度までにスタートできればと思っています。

小・中学校再編計画がスタートし、説明会を開催しております。

特別養護老人ホームです。申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は85から90%です。申し込みから1年で入所できるという時代になりました。

《質疑》

森野やよい自治会

今後高齢者の特別老人ホームへ入ることになるかもしれませんが、ここに入るには年間どのくらいの費用が必要なのか、教えていただければ幸いです。

市長

一般的には月額、家賃と食費と介護と全部ついて16万か17万くらいです。年金だけでは入れませんが、少し蓄えがあれば大体支払いはできるようになっています。ただし、介護度が3という条件があります。

地区連合会長

先ほどマイナンバーの話が出ましたが、町田市でマイナンバーは何%くらい普及していますか。全国平均はどのくらいですか。

市長

今、約40%です。全国が37%くらいです。再来年の3月で100%を目標としています。

公社本町田住宅自治会

2、3日前に新聞に出ていましたが、1階に殺菌LED電球をつけるということで、日本初という記事でした。その経緯を教えてください。

市長

台湾の方の会社のもので、市の職員から提案があり輸入しました。輸入第一号ではないかと思えます。一階の待合のところに上から照射して殺菌しています。

地区連合会長

ワクチン接種について、3回目が12月から始まるということですが、接種場所はどのあたりを考えていますか。医療機関なのか、また他に会場をつくるのでしょうか。

市長

接種場所は1回目、2回目と同じ予定です。年内や1月に接種する方は医療関係者ですから、恐らく自分の病院で接種すると思います。皆さんの場合は、今までと同じようにかかりつけ医の先生のところか、生涯学習センターといった集団接種会場で行うと思います。集団接種は3月くらいから本格的に始まる予定です。3回目は2回目から8ヶ月間を空けます。前と違うのは、いつ打ったかという記録があり、人によって2回目の接種の日が違うので、我先に予約しなければいけないということはありません。

地区連合会長

旭町の体育館はお使いになる予定ですか。

市長

旭町は2月まで工事をしていますので、その工事が終わってから使う予定です。

○閉会の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長